

瀬戸内漁業協同組合・鹿児島県瀬戸内町
瀬戸内町ネリヤカナヤの海推進協議会

瀬戸内町 ネリヤカナヤの海 in奄美大島 ブルーカーボンプロジェクト

漁業者と行政が中心となり、
子どもたち、企業、専門家と
一体となって取り組む、
人の営みと豊かな自然が
両立する海づくり

ネリヤカナヤとは

奄美群島に古くから伝わる概念で、「海のかなたの楽園や理想郷」を意味します。年初にネリヤカナヤから神がやってきて豊穣をもたらし、年末にまた帰るとされており、豊かな海づくりを目指すプロジェクトとしての意思を込めています

私たちの課題意識・取組 About us

- 奄美大島の最南端に位置する瀬戸内町は、奄美大島で唯一海峡を有する町で、豊かな穏やかな海は漁業や避難港として活用されてきました。
- しかし、近年では気候変動等による急激な海洋環境の変化を前に、獲れる魚の量や種類が変わったり、台風災害の激甚化等、町のくらしが脅かされています。
- 瀬戸内町、瀬戸内漁業協同組合は、こうした危機を前に、藻場やマングローブの造成・回復(ブルーカーボン創出)を通じた気候変動の緩和・適応、水産資源の回復等によって対策をはじめました。
- 2024年には企業やアカデミア、子どもたちを含む幅広いステークホルダーとの連携のために、瀬戸内町ネリヤカナヤの海協議会を設立、活動を本格化しています。

私たちの取組の特徴 PR Point

本邦では稀少なマングローブへの着目



気候変動の緩和・適応のみならず、干潟と組み合わせた生物多様性、波浪減衰等の防災効果等、島、日本の未来に欠かせない自然由来のソリューション(NbS)の知見を蓄積



学校教育や企業との幅広い連携

地域の学校における環境教育や企業の研修等の場として、マングローブや藻場を提供し、海づくりと地域の持続性の関係性にかかる理解深化を加速



自然共生サイト認定等の発展的取組

取組における環境保全等が認められ、全国でも稀少な海を含む自然共生サイト「瀬戸内町 ネリヤカナヤの海」として認定(令和6年前期)

取組成果等は、瀬戸内町HPにて公開中、ぜひご一読ください
(二次元コードを読み取ると、町HPにリンクします)

